

「実践交流」の持ち方について

1. 実践交流のねらい

- (1) 「学び合い」を生かす授業実践について、各教科で取り組んでいる内容を発表・交流し、教科の枠を越えてその成果と課題を共有する。
- (2) 発表者の立場では、自分の実践をあらためて見つめ直す機会とする。また聴き手の立場でも、積極的な姿勢で発表を聴いて、自分の実践を比較し見つめ直す機会とする。
- (3) お互いの実践から学び合うことを通して、教師間の同僚性を高める。

2. 実践交流の内容、方法 今年の担当・・・2年

内 容：「学び合いを生かすヒット授業案」にもとづいて実施した授業について、生徒の反応や得られたこと、課題として残ることなどを発表する。

時間設定：25分（発表10分＋質疑10分＋感想記入5分）

発表者：発表者を4～6人設定する。発表者は各ブースで発表をする。

聴き手：発表者以外は聴き手となる。質問や意見などを交わす。感想も記入する。

：1つの発表に対して、質問や感想等を必ず1人1発言を！

：4～6人の発表に対して聴き手の人数がほぼ均等になるよう、その場で調整する。

：記録メモを取って発表者に手渡す。 (みんな大人なので協力してくださいね)

3. 時間設定（全体研修会 14:35～16:55）

・ 学校長挨拶 5分 14:35～14:40

・ 経過説明（ ） 5分 14:40～14:45

・ 実践交流 20分 14:45～15:05(説明10分 質疑10分 その後感想記入)

・ 公開授業の研究協議 60分 15:10～16:10

・ 指導講話 30分 16:10～16:40

小牧市少年センター所長・倉知雪春先生

・ 謝辞・挨拶（教頭） 3分 16:40～16:43

4. 発表者（以下の先生方をお願いします）

5. 発表者が準備する資料

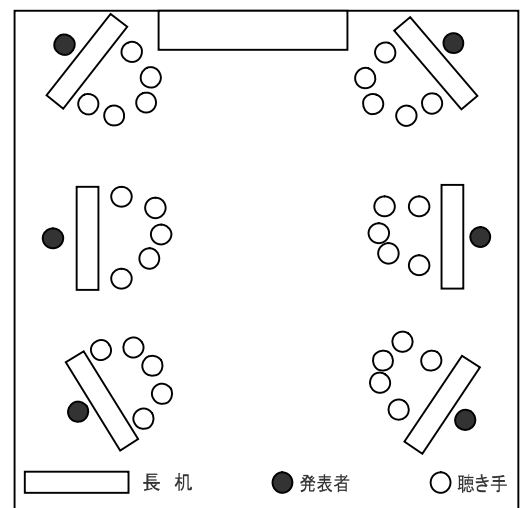
・ まとめレポート（A4用紙1枚，最大でも2枚まで）3部印刷し会場に置く 別紙2参照

【指導略案】＋【授業の様子，成果と課題，授業を終えての所感，生徒の感想など】を必要に応じて

6. 今後の展望

全員がレポートは提出して下さい。学年で綴ります。

7. 会場イメージ図



[実践交流]

- ・聴き手は別紙に記録して、発表者に手渡します。

[研究協議]

- ・1人1発言で、活発な協議をお願いします。
- ・自分が観察した生徒の様子を交流することが、授業研究につながる。
- ・生徒理解につながる。

指導講話 小牧市少年センター所長・倉知雪春先生

実践交流の感想 教科() 担当()先生

記入者 ()